



# 醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより  
令和6年3月19日 No.49  
文責 校長 遠藤 和宏

2023年9月16日  
醸芳小学校は 創立  
150周年を迎えました

**<学校経営の根本精神> こつこつ とことん あきらめない**  
**<今年度の重点目標> 自分から 勇気をもってチャレンジ!**


## 震災から13年を過ぎて

19日、実施できなかった「3.11を忘れない集会」をオンラインで行いました。(3月11日は黙祷のみ行いました)震災からもう13年がたつのですね。

私は震災当日、南会津町の学校にいました。もちろん大きな揺れはありましたが、特に被害もなく、子どもたちをいつものように下校させました。その後、テレビでニュースを見たのですが、そこには信じられない映像が映っていたのです。宮城県沖地震を経験し、阪神・淡路大震災の様子も知っていましたが、津波に町が飲み込まれる映像には目を疑いました。当日は金曜日だったので、夜に福島市の自宅に戻ったのですが、土湯峠から見た福島市は、停電で真っ暗でした。自宅は壁が崩れ、照明や食器が床に散らばっていました。それから、しばらく断水も続き、周囲の商店は全て閉店し、ガソリンを入れるのにも苦労しました。そんな中、「井戸水を使ってください」という看板があちこちに見られたり、青空市場が開かれたりするのを見て、人々って助け合って生きているんだと実感しました。南会津では、避難してきた人たちに炊き出しを行ったり(私もおにぎりをにぎりました)、毛布を集めたりしました。一方で、東京方面から「頑張れ」のメッセージが届いたり、放射性汚染物質を吸収すると言われるひまわりの種がたくさん送られたりしました。

地震大国日本、昨年は震度1以上の地震が192回起こっています。2日に1回の割合で地震が起きる日本に住んでいる以上は、万への備えがとても大切ですが、子どもたちに一番訴えたいのは、どんな状況であっても人々は助け合って生きていること、時間はかかるが復興に向かってあきらめずに進んでいることです。まさに「こつこつ とことん あきらめない」の精神なのだろうと思います。子どもたちには、これから先、どんなことがあっても、みんなで力を合わせて生きていってほしいと強く願うのでした。

2011年3月11日(金)  
午後2時46分  
宮城県沖を震源する  
マグニチュード9.0  
**最大震度7の大地震**  
(桑折町6弱)  
**日本観測史上  
最大の地震**



校舎がつぶれた  
福島学院大学



津波の被害 請戸小




津波がおしよせる南相馬



津波で折れ曲がった電車 新地町

15mもの津波が 海岸にある  
**原子力発電所**(大熊町)をおそう  
津波で 電源が失われ  
原子炉を冷やせなくなり  
大きな爆発が起こった  
**大量の放射性物質**が  
拡散された...




爆発した  
発電所

みんな 大きな被害を受けたが  
**災害に負けず 力を合わせ**  
**助け合い 励まし合い 生きてきた**



この年、岩手・宮城・福島に  
がれきの片づけなどに 全国  
から集まった ボランティア  
**958,300人**

福島県は 一歩ずつ前へ進んでいます  
私たちだからこそ 自信をもって言おう



**どんなことがあっても  
人って 助け合えるんだよ!**  
**決して あきらめないんだよ!**

そう、  
**こつこつ とことん**  
**あきらめない**  
の精神と同じ!

